

議会が注目した事業 96億 「継承」と「創造」 9000万円 (前年度比3.3%増)

じわじわと進む少子高齢化と人口減少、物価高騰や公共施設の老朽化、課題が山積する小川町。新町長の下で初めて編成された令和5年度一般会計予算からピックアップ。



子供たちは、未来の小川町の希望です。18歳まで安心して医療を受けられます。

継続 子育て医療費支給事業

5,013万円 民生費の1.5%

子育て世帯の経済的な軽減を図るため、令和5年4月から支給対象年齢を18歳になった年の年度末まで拡大。

継続 地域活性化拠点整備事業

1億5,163万円 商工費の45.3%

令和6年12月のオープンを目指し、道の駅の再整備を進める。

有機農家さんから地元農産物の情報発信と商品企画の中心的役割に期待したい。
栗山 健さん(下里二)



期待します



和紙の紙漉き工房と道の駅の建物

伝承します

紙漉き職人さんから和紙の複合的な体験ができる施設になることを期待します。

- (左) 若林正良さん
- (下) 菊地秀子さん
- (右) 浅岡優素さん

リニューアルが進む道の駅

継続 まちのキャンパス HIGASHI OGAWA 推進事業

2億2,240万円 総務費の15.9%



住宅団地の再生に向けた官民連携による旧東小川小学校・旧上野台中学校跡地の利活用を推進。

4月1日から多くの民間企業が賃貸借契約を結びまもなく活動が始まります

新規 照明灯LED化事業

1億6,369万円 土木費の15.1%

道路照明と公園照明をLEDに交換し、省エネ化・脱炭素化を図る。



「ゼロカーボンシティの町」として、一歩前進！

ピックアップ事業

新規 出産・子育て応援事業 1,460万円 衛生費の1.6%

妊娠から子育てまで寄り添った相談支援と応援金の支給を一体的に実施。(出産前5万円、出産後5万円)を支給。

新規 成人歯科検診の実施 13万9,000円 衛生費の0.02%

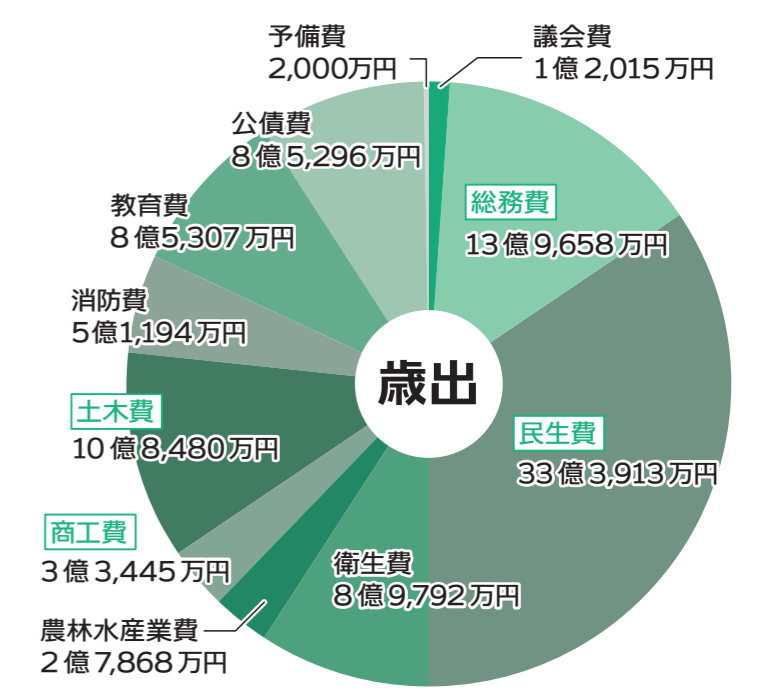
成人歯科検診を実施し、8020(ハチ・マル・ニイ・マル)運動を推進。

継続 デマンドタクシー運行事業 3,652万円 土木費の3.4%

公共交通空白地域の解消や高齢者等の外出支援を目的としてデマンドタクシーを運行。

新規 給食センター調理器の購入 4,130万円 教育費の4.8%

給食センターの焼き物機、揚げ物機等を更新。



勢いを止めずに新たな創造を

トップリーダーの交代は、良さを継承し、新たな時代を創造するところにある。

令和5年度の一般会計予算の特徴は、①町の活性化に向けて「道の駅」や「東小川学校跡地」の動きを加速 ②子ども医療費の対象年齢を18歳まで拡大し子育て支援を強化 ③ゼロカーボンシティ宣言の町として道路や公園の照明をLED化 に見ることができる。

しかしコロナ前からの課題である、パトリアのプールの施設転換、リリックの大ホールの改修は見通しも立っていない。また、学校再編の方向は決まったものの安全な通学路やスクールバスの運行などについては今後の大きな課題となる。

未来の小川町を見据え、財政調整基金や地方債の活用を視野に、大胆な予算編成が求められている。